

Moisture Project

紫外線や冷房の影響を受け続けたあなたの肌、夏の疲れがダメージとして現れ出ていませんか？ 新色コスメを手に入れて、「秋冬のビューティー計画は万全」なんて安心していても、この先メイク映えのしない「乾き肌」に悩まされてしまうかも。早めに保湿計画を練りましょう！

私の肌はこの冬ゼツタイ乾かない!!

／唐沢光也、田中信司(取材分) イラスト／園田レナ 取材・文／河村美枝・轟木あずさ(BELLAZZA)
／パンタイ マテル事業部



岡部美代治さん／アルビオンビューティサイエンティスト。美容業界の知恵袋的存在で、肌のしくみに関する丁寧な解説で、女性誌の美容担当者の支持を集める。



片桐衣理先生／衣理クリニック院長。親切な診察と、わかりやすいケアアドバイスに定評のある皮膚科＆内科医。自他共に認めるコスメ好きでもある。(TEL 03-5625-9938)

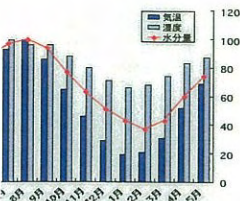


←ノーファンデでは外に出られないくらい、どんよりくすんだ肌なんてナサケナイ!

間、しっかり日めをつけていたなぜかシミが濃てきたような...



→肌を触るとザラザラしているみたい。目尻の小ジワが、大ジワにならなきゃいいけど...



100だった肌の水分量が11月には9月、10月、11月と、気温と湿度の低下に負けない保湿対策は資料提供/カネボウ

↑左はキメがきれいなひし形に整っている、うるおいに満ちた肌。それに比べて右の乾燥した肌は、キメが浅く流れがちで、はがれかけの角質も。資料提供/リサーチ



“曲がり角”前なのに肌はなぜ乾くの？

ちよつとくらい眠らなくても、スキンケアに手間をかけなくても、プリプリとしたみずみずしい肌であるはずの20代前半の肌。肌の力サツきや目尻の小ジワを実感してしまふ、いわゆる「お肌の曲がり角」を、曲がりきつていないはずなのにどうして？

「クリニックを訪れる患者さんのほとんどが、年代にかかわらず乾燥傾向と言います。肌をとるため環境が、過酷になつてゐるためでしょう」と衣理クリニックの片桐衣理先生。1年中エアコンの効いた室内で過ごしたり、オゾン層の破壊などで紫外線の害

が昔よりダイレクトに肌に影響を与えたりストレスで肌のコンディションをくずしやすいなど、知らず知らずのうちに、肌が乾燥しやすい環境に置かれてゐるようです。また、「うるおいケアに対する間違つた知識で、肌を乾かせている人も多いと思います」と話すのは、アルビオンビューティサイエンティストの岡部美代治さん。

「保湿＝水分を与えること、と化粧水だけつけて満足してゐて、肌を乾かせてゐる人が最近とても多いですね」あなたも、保湿してゐるのに乾くと悩んでいませんか？



肌が乾くと、なぜいけなの？

肌の乾燥が気になつたときに、その状態を単純に「肌が乾くトラブル」としてしか見ていないのなら、それは間違つてゐる。20代の肌の3大悩み、くすみ、小ジワ、シミは、たいていは乾燥が引き起こしてゐると考えられるからです。

「乾燥は、肌が力サツくとかが粉をふくといったトラブルだけで終わることはありません。乾燥がくすみや小ジワ、ときにはシミまでも目立たせることになりまふ」と片桐先生。

肌に透明感が感じられるのは、角質層に充分なうるおいがあり、光を透過できるから。うるおい不足だと光が屈折し

て、肌色をどんよりとくすませます。小ジワも、何日も放置しておいたリンゴの皮にシワがよるのと同じように、水分を失ふことで肌にシワができてしまひます。また、乾燥してゐる肌は、紫外線に敏感に反応してしまふため、ダメージを受けやすくなりシミができやすくなることも。

「最近多い敏感肌も、乾燥が原因のケースが多いのです。角質層が水分不足になると肌のバリア機能が低下して、刺激を受けやすい状態になつてしまふからです」片桐先生。乾燥は「百害あって一利なし」と心得るべきです。